

皆さん、師走ですよ！。

今年一年は、新型コロナウイルスに、全世界が翻弄されましたね。先月後半から、三波としてじわじわと感染者数を増しております。幸いにして、山形県は少ない罹患者で経過しておりますが、治療薬なし、ワクチンなしの状態です。いつ爆発的になってしまうかが、大きな不安になっている毎日です。老健施設にも関係しているので、そこでの発生だけは起こしてはならないと気を引き締めております。社会・経済的側面から、移動や活動を抑えることは当面行わないとの事、政府関係者達は声高に“十分気をつけて”のみを繰り返しておりますが、何に気をつけるのか？ということはずいぶん難しい。



このような中、うれしい事もあるのです。インフルエンザワクチン接種に多くの時間を取られておりますが、インフルエンザそのものが発生していないのです。全国的な傾向でもあります。マスク着用と今までにない厳重な手洗いそれらの効用なのかもしれません。このことは、休日の当番医をしても来院患者さんが2~3人しかいないというところにも、現れているようです。

このままで推移すると、年末や正月を迎える形が大きく変化してしまうかも知れませんね。人類の全社会の構築そのものや、対応を柔軟に変えてしまうであろう新型コロナウイルス、本当に“何者なの？”。



来月は、令和3年になります。期待のワクチンを使用し始める事が出来れば、そして特効薬が見つければ何よりの人類へのプレゼントになる事でしょう。

地球レベルで考えると、朝にならない夜は無いし、春の来ない冬はありません。より良い日々を楽しみにして、新年を迎えることにしましょう。

素晴らしい年の幕開けを皆さんが迎えることを祈念いたしております。

令和2年11月吉日
院長 清治 邦夫